

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 6年 6月 29日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県鳥栖市河内町字谷口2212-2
団 体 名 特定非営利活動法人 市村自然塾 九州
代表者職・氏名 代表理事 柴田 暢雄
電 話 番 号 0942 82 5211

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 市村自然塾 九州
- 2 事業実施期間 : 令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

「市村自然塾九州」は『生きる力を大地から学ぶ』を基本理念とした子どもたちの健全育成、成長を支援する特定非営利活動法人です。
農業体験活動、自然体験活動、共同生活の3つを柱に、子どもたちの規律、自主性、創造性などの資質を育む場を提供しています。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県内の小学4年生から中学2年生（男子18名、女子18名：計36名）が3月5日から10月29日の8ヶ月間、全15ステージを共に学び、『人として守るべきルールを身につけ』主体性・創造性などの資質を育む場を提供し、通年型の実践活動を通じて青少年の健全育成を図りました。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

毎年、塾生の応募は佐賀県、福岡県の各教育委員会の後援を受け、学校(小中学校)に配布。他県からの応募もあり、広く自然塾活動の周知を図りました。地域内外の子どもたちの交流に繋がりました。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		2,200,177
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	2,200,177
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	2,166,800
	前年度控除額(県事務経費)還付分	33,377
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		2,200,177
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	2,166,957
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	33,220
	返礼品等の調達に係る費用	0
	返礼品等の送付に係る費用	0
	広報に係る費用	33,220
	事務に係る費用	0

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.szj-k.com/>